

○2番（近藤 敏彦君） お疲れさまでございます。

議員になって16回目の一般質問となります。よろしくお願いいたします。

まず最初に幹線道路の整備について、お尋ねをいたします。

イオンモール東員がオープンしてから早くも2年が経過いたしました。東海環状道路東員インターチェンジは、接続する道路の一部法面の崩落事故により、予定していた平成27年度での開通が、残念ながら来年夏ごろにずれ込むことになったとの発表がありました。

いよいよ便利になりつつある東員町ですが、三和地区の、とりわけ南大社、長深地区では狭隘道路が生活道路として使われており、外部からの自動車の流入に対して十分に機能していないのが現状であります。地元の要望で常に出てくる三和小学校前の養父川沿いの道路や三孤子川沿いの大安町から中上へと抜ける道路、そして長深の中心を南北に走る旧365号線などの拡張について、地権者の協力があることではありますけども、町主体で進めることはできないでしょうか、建設部長にお尋ねをいたします。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） それでは幹線道路の整備について、お答えを申し上げます。

平成25年11月のイオンモール東員のオープン当初は、大変多くの来店者によりまして、幹線道路や周辺道路では渋滞が見受けられたところがございます。しかし、オープンからはや2年が経過してございまして、現在も多数の来店者はあるものの、当初のような大渋滞は幸い発生してございません。

東海環状自動車道の東員インターチェンジでございますが、これにつきましては、当初平成27年度末の開通予定ということで大変期待をしておりました。しかしながら接続いたします新名神高速道路の法面崩落が起りまして、この影響を受けまして、残念ながら平成28年の夏ごろということで発表されたところがございます。

さて、イオンのオープンや東員インターチェンジの今後の開通に伴いまして、南大社、長深地区の自治会地区の狭い道路を利用する自動車の対策として、近藤議員お示しの三和小学校北の養父川右岸を利用しながら、いなべ市へ向かう道路の改修、また三孤子川左岸を利用し、いなべ市へ向かう道路の改修、旧国道365号をイオンから南へ向かう狭い部分の拡幅につきましては、事業を進めるにも用地買収費など、多額の事業費がかかるものと考えてございます。

これにつきましては、一例としまして、三孤子川左岸道路を旧国道365号から西へ約1.5キロ先のいなべ市へ、現在の町道中上南大社線を延伸する形で道路改良を行った場合の試算、これを行ってございます。これはあくまでも概算というか、本当の概算の概算というか、試算でございまして、これについては一部いなべ

市内、200メートルほどなんですけども、これを含みまして、用地買収等々を含めまして約8億円ということで、多額の事業費が必要となってまいります。

また、三和小学校北の養父川の右岸を利用しまして、いなべ市へ向かう道路の改良を行った場合も6億円程度はかかると考えております。それと旧国道の365号線をイオンから南へ向かう狭い箇所は幅、これにつきましても現在家屋が建っておりますので、これの移築費を含めた事業費では約1億円程度は必要と考えてございます。

このように多額の事業費がかかりますことから、現段階では事業化に踏み切ることは、東員町の財政的にも困難と考えてございます。

なお、ご懸念の集落内の生活道路の安全対策につきましては、今後も所轄いなべ警察署等々関係機関と協議を行いながら対応してまいりたいと思っておりますので、どうかご理解賜りますようお願いをいたします。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 多額の費用がかかるというご案内でございました。三孤子川沿いには8億円、大変な費用でありますね。この用地買収というのは、今の町道は町の所有物だとしても、あと、その幅分ぐらいを多分田んぼの所有者から用地買収をするもんやと思うんですけども、一部田んぼにかかる部分やと思うんですけども、それをずっとやって8億円とか、そんな金額になるもんなんですか。具体的にどういう根拠があるのか、ちょっとお示し願います。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） なかなか8億円と聞きますと、えっというような話になりますけども、用地買収費は、今、都市計画関係の町道幹線道路ですね、平米1万9,000円ほどやったと思います。あと左岸道路の改良につきましては、現の中上南大社線のあのままの道路幅員をもちましてやらないことには事業効果は上がりませんので、今現在の道路幅員、歩道をそのまま延伸するという形でやっております。そうしますと、かなりお金がかかるということでございます。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 絶望的とは言いませんけども、かなりの費用がかかるということで、ちょっとトーンダウンしても何なんですけども、こういう道路の幅員など、整備をするに関して、地元住民から以前より強い要望が出ているのは事実であります。なかなかこういった事業が進まないのは、理由としてはやはり費用の問題が最たるものではないでしょうか。ほかに理由があれば教えてください。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 午前中もご答弁させていただきましたけども、社会資本、特に道路事業に関しましては、その整備に一定の期間を要します。例えば単年度でできるものではございませんので、やるとしたらしっかり計画を立てながら、中長期的な視点に立って考えることが大切かと思えます。それにつきましては当然、人口減少なり、そういったことの全てを把握しながら計画を立てていかないと、これについてはなかなかできないということでございます。

あと、多額の費用がかかるということでございますけども、用地買収が一番でございます。というのは道路事業、これは公共事業全てにおいてですけども、用地買収が終わって大体8割が終わったという形で私はとらえております。あとの事業については、年度できちっと当初年度予算に予算を置いて、何十年とは言いませんね、5年から10年かけながらやるのが道路事業だと思います。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 中長期的に計画しないとできないということですので、さっそくとりかかっていたかかないと、いつになってもできません。中長期的な部分を見据えて、早く段取りをしていただければなど、このように思います。

あと、イオンのオープンから、私のほうでずっと訴えていることではありますけども、南大社、長深はもともと道幅の狭い道路がほとんどでありまして、その中に町外からの車両が入り込んできます。生活道路としての機能が一時的に奪われてしまうため、地元の方々は非常に困っておられます。

先ほど申し上げた町道3路線の中でも、条件的なことを考えると、早期に整備しやすいのはやはり長深と南大社を結ぶ三孤子川沿いの町道ではないかと思えます。中上から長深までの三孤子川左岸、先ほどもう整備されているというご案内がありました。そこはきれいに整備されておりまして、今ではイオン関係の路線バスなんかも多くの車両が行き交うにぎやかな道路となったわけでありまして。

この中上から長深までを整備した際、これの経緯がもしわかればお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 議員がお示し願った道路につきましては、当時、高速関連の補助金、あとまちづくり交付金、県の補助金を受けながら事業を行ってまいりました。

一番困ったのは、地権者さまのとりまとめということでございました。これについては経緯とおっしゃいましたけども、事業着手が約16年前ということで、文書保存期間の10年を経過しておりまして、現在文書自体が存在しないという文書もあります。

その中で私も最後のあたり、道路の用地買収を担当させていただきました。その中では当時の中上の水谷自治会長さまですね、この方が本当に親身になって相談に乗っていただきまして、骨を折っていただきました。今でも本当に大変感謝を申し上げております。集落センターに皆さん寄せていただいて説明する中、それが終わってから、次は日を変えて集落センターへ、皆さん要するに実印をもって、そこでご調印ということでやっていきました。本当に何遍も申し上げますけども、感謝でございます。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） この道路の整備につきましては、先ほど中上の自治会長が骨を折られたということでしたけども、話の発端としてはどこから出た話ですか。自治会なのか、町側から出てきたのか、その辺の経緯もお聞かせください。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 道路計画のことでよろしいですか。これは高速道路が当然やられる中で、それに関連する道路ということで、東員町の中の計画で上がってございました。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） あと地元の要望もさることながら、いなべ市の大安町のほうからも拡幅を望む声が上がっているとお聞きします。いなべ市にとっても、この区間の整備は大きなメリットがあるかと思われます。この際、いなべ市の協力を得ながら事業を進めていくことはできませんでしょうか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） いなべ市さまから私どものほうへもご要望がございました。その中で、いろいろ事業費等々お示しをさせていただいたんですけども、8億円という中で、なかなか一緒にはちょっとその金額ではできないなということを、いなべ市さんは言われておりますので、これにつきましてはいろいろな工法を考えながら、今後また検討もしていかななくてはならない事案だと思います。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 8億円というお金で尻込みをされたということですけども、いなべ市単体で、当然東員町の町道ですので、いなべ市に負担をかけることは難しいかと思っておりますけども、余り大きな金額であれば、そういった共同の事業として何か考えられることがあれば、手っ取り早い進め方かなとは思っておりますけども、それはまた、この後もいろんな方策を考えていただいて、よりよい、そしてなるべ

く早い目の解決が図られるような方策をとっていただければなど、このように思います。

あと今回の一般質問につきましては、ほかの同僚議員からも道路整備に関する質問があるかと思えます。私からは三和地区に限っての質問とさせていただきますけども、このような道路整備事業については、優先順位をつける方があるのではないかと思いますけども、そのような優先順位をつけるに当たって、どのような基準にのっとって行われているのか、教えていただけますでしょうか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 東員町内におきまして、企画調整会議というのがございます。これにつきまして、私どもから上げていく道路等々について、皆さんでご審議願っております。また、上げていく段階においては、当然ビーバイシー、これも含めまして数値を出しながら考えていくと。なかなかビーバイシーだけで言える問題でもありませんので、例えば道路ができたら、ここに企業さんが来ていただく、それに対してすごい波及効果があるよということも含めながら、今後優先順位についてはしっかり議論していきたいと思えます。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） その企画調整会議は住民の要望のほうがランクとしては上なのか、町の意向のほう为上なのか、その辺はどういうふうな位置づけになってますか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 企画調整会議と申しますのは、町幹部と申しますか、それと副町長、町長に入っていていただいて、これからの東員町をしっかりとやっていくという会議でございまして、その中でさまざまな計画を議論してございます。その中には町民の皆さまの声も、当然というか、絶対反映させないといけませんので、そこはしっかりとご意見は承っていくようにいたします。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） あと、午前中の答弁の中で、狹隘道路の整備については計画的に進める予定は今のところないというような答弁がありました。そうすると、計画的でなかったら、偶然の条件を待つしかないと思うんですけども、計画はしないのですか。狹隘道路の整備については計画というか、事業自体をやるつもりはないということですか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 午前中のご答弁につきましては、都市計画を考える上でしっかりとした道路をと、多分ご質問だと思います。その中で、なかなかそれを全てやっていくというわけにはいきません。当然これは財政面もござい

ますし、狭い道路をじゃあどうするのかというと、例えば交通安全上大変問題があるところにつきましては、また企画調整会議等々で議論をして、やるやらないについては結論が出ると思います。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） あと、旧国道365号線、長深の道なんですけど、イオンの前を通過して長深のど真ん中を通る道であります。ここには住宅が立ち並んでおり、用地の確保は、ほぼ不可能に近いかなと、このように思っております。それこそ午前中に出ました新築によつてのセットバックを期待するのかなというふうに思います。

このようなことから考えますと、なかなか整備というよりも、代替道路みたいなものを新たにつくったほうが早いんじゃないかと思っておりますけども、そのような狭隘道路の対策にかわる代替道路の計画なんかはありますでしょうか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） すみません。代替道路につきましては、先ほども申し上げましたけども、ビーバイシー、いわゆる費用対効果等々考えまして、企画調整委員会の中でしっかり議論していきたいと思っております。代替道路というのは、いわゆるバイパスになりますけども、有効な活用が図られるのであれば、それも一つの方策かと思っております。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） いずれにしても、道路の新設や整備となりますと多額の費用がかかることと思っております。先ほどの答弁の中で、三孤子川の前やった整備は、高速道路関係の補助金が出たりだとか、まちづくりの交付金を当てて整備したというようなご答弁がありましたけども、町からの持ち出し分、やっぱり軽減させることが重要やないかと思っております。何かそういった国の補助金があれば、そのほかこんなものが活用できるんじゃないかというような補助金があれば、ちょっと教えていただけますでしょうか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 現在東員町で進めておりますのは、社会資本整備事業の補助金というか、それを使いまして、交付金を使いまして、今現在は例えば笹尾の中の歩道のリノベーションというか、やり直し、それとか各床版橋、橋梁の落橋防止装置等々をやってございます。いわゆるインフラのストックマネジメントというのがございまして、そちらのほうに力を入れておりますので、なかなか新しい道路をつくるというのは、今現在財政的にも無理だと思っております。

社会資本整備事業の中で新しい道路もできますので、今後いろんな形で財政面が好転すれば、また考えていきたいと思います。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） これまで何度も述べてきたことでありますけども、イオンモール東員ができて、東員インターの開通も間近となってきて、便利で住みやすいまちになっていくものと思われま。子育てをする環境も整っていることから、東員町に住んでみたいと思う人も、少なからずいらっしやると思います。そして宅地の提供と合わせて、道路インフラの整備も重要な課題になってくると思いま。

三和地区に限らず、不便な道路は町内でほかにもたくさんあると思われまが、どうか優先順位を間違えることなく当たっていただければなと思いま。

最後ですけども、私、何を言いたいかといいますと、非常に地元の皆さんが生活するのに困っていらっしやるということで、本当に狭い道、前々から、元々から狭い道を利用して生活なさっていた住民の方々が、そのような町が便利になるがために不便な思いを逆にされているということでありますので、先ほどの三孤子川の整備ではないですけども、地元から声を上げる、それに対してまた旗振りの役を町のほうで担っていただきたいと。住民が集まって話し合いをしても、なかなかまとまらんことでも、旗振り役がきちんとして方向性を示せば、何かいい解決法が見つかると思いま。その辺を踏まえて、少しずつ確実に進めていただければなと、このように思ってますので、よろしく願いをいたします。

1つ目の質問は終わらせていただきます。

続きまして、2つ目の質問に移らせていただきます。

副町長の視点での東員町のよい点と悪い点は、という質問をいたしたいと思いま。

副町長が8月に就任されてから4カ月になりますが、その間、副町長の目で見られた東員町のよいところと悪いところ、今後の東員町の進むべき方向性など、気がつかれたことをお尋ねいたします。

○議長（山本 陽一郎君） 小川副町長。

○副町長（小川 裕之君） 近藤議員からの私への質問について、お答えをさせていただきます。

8月1日に着任させていただきました4カ月が経ちました。本当にあっという間に月日が過ぎていった感じがいたします。

初めての職場で初めての副町長職ということで、その職責の重さにつきましては改めて強く感じているところでございます。

この4カ月の間に、役場内の職員の考え、思いを聞きたいということで、若い職員に重点を置きながら職員面談を実施いたしましたし、職員一人一人の思いを聞かせてもらいました。またそれと同時に各部署の抱えるさまざまな課題について、各部署と必要に応じて協議を行い、解決策を図っていったところでございます。そして、これまで補正予算にも少し関与させていただきましたし、現在は来年度、平成28年度の予算編成に着手をしているところでございます。

そのような日々の中で、なかなか東員町全体を回る機会もございませんでしたが、10月、11月に実施いたしました町政懇談会につきましては、全ての自治会、23自治会に同席をさせていただきまして、町民の皆さまのいろんなご意見を直接生で聞かせていただきました。非常にありがたい機会だったというふうに思っております。

さて、ご質問のありました東員町のよい点ということでございますけども、面積的にも非常にある意味コンパクトで、全体的にコンパクトということで、何をするにしてもまとまりがとれるんだらうというふうに思っております。

また自然環境も非常に緑豊かで、海岸部のような地震による津波とか、そういった災害も少ないようなところで、そういう意味では非常に暮らしやすいまちであるだらうというふうに思っております。

また、行政サービスに関しましても、子育て支援とか、そういったものにつきましても非常に充実されているのではないかとこのように思っているところでございます。

また、町民の皆さまにおかれましても、今日もお話があったかわかりませんが、健康寿命とか、この近辺では非常に高いということで、そういう意味では町民の皆さま全体が老若男女とも、文化・スポーツに親しまれて、またそのレベルは非常に高いと。それからまた、庁舎内の玄関で開催されております町民ギャラリーも非常に程度が高くて、毎回楽しみにしているところでございます。

次に悪い点といいますか、残念だなというところになると思いますけども、先ほど申しましたように、非常にコンパクトでまとまりがあるよいまちですが、その反面、何か大規模なことをしようとする土地が少ない、これは町政懇談会でも企業誘致の話がありましたけども、土地がなかなか少ないという面もあります。

それからまた土地があったとしても、市街化調整区域であったり農振農用地であったり、かなりきつい規制がかかっているということでございまして、なかなかここぞという場所に規制がかかっていることもありまして、スムーズな事業が行われない部分があるのかなというふうに思っております。

また、業務におきましても、町民の皆さまと役場の職員の間には距離感があるようにも思います。そういう意味では、これから町民の皆さまの立場に立って業務に臨むことを徹底していきたいというふうに思います。



また、町政懇談会の件でございますけども、いくつかの会場でもご指摘をいただきました。東員町はいろいろな取り組みを行っているんですけども、その割にはその情報が外部にうまく伝わっていない、伝えることができていないというような意見もございました。そういう点につきましては、そういうふうに私も思っておりますので、今後は情報発信については、だれに何を伝えるのか、どの手段を使うのかを改めて整理して効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えています。

いずれにいたしましても、今後も町長の補佐役として、東員町の皆さま方の福祉の向上と東員町発展のために全力を尽くす所存でございますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 4カ月の間にいろんなことをされて、よく勉強されたなど、このように思います。東員町に住んだこともないんですね、今まで。初めてお住まいになれることやと思いますけども、東員町になじまれて、努力されているのがよく伺われました。

また、情報発信が下手やと自らおっしゃられましたけども、本当にこんないいことをやっっているながら、こんなことをやっておったんやという周知がなかなかうまくいかないというのは、もともとかねてからの課題でありまして、そういった問題のよいところ、何か改善点があれば、また考えていっていただければなど、このように思います。

あと、全自治会、町政懇談会に同行されたということでもありますけども、町民の皆さんとじかに接することによって、早く顔を覚えてもらうことができることや、東員町になじみを深めるためには大変よかったのではないかなと思います。

それから就任されてから気づかれたこともいろいろあると思いますが、こういうことはこうしたほうがいいんじゃないかというような提言など、町長や町の幹部の皆さんに対してやられたことがあれば、何かあればお聞かせください。

○議長（山本 陽一郎君） 小川副町長。

○副町長（小川 裕之君） 現在まだ4カ月ということでございまして、まだまだ手探りの最中でございます。ただ、今後こんなことを変えていけばいいのかなというのは、実は若手の職員と議論をしている中で、非常にたくさんの建設的な意見をいただきました。若い人たちは、やはりすごくやる気がある、まじめな人は当然ですけども、やる気があると。

ただ、これまでの町の仕事をしている中で彼らが気づいたことは、1つは事務の効率化が今後もっと図られるべきだろうと。例えばマニュアルの整備とか教育システムとか、それから役場内で必要な最低限の研修とかそういったこと、あるいは本人たちが言ってるわけですけども、人材育成というんですかね、これからは東員町

が独立して合併もせず生き抜いていこうとすると、やはり職員のレベルアップは絶対必要です。そういう意味では若手職員が思っているような危機感が、非常に若手職員にもありますので、そういった人材育成についてはこれからさらに、それも上からやれというのではなくて、自発的に勉強していくような、自発性のある体制といいますか、そういった人材をこれからつくっていく必要があるだろうというふうに思います。

さらには役場全体でコミュニケーションとか連携を進めていくべきだろうというふうに思っています。全ての業務につきまして、個々の担当課だけではなくて、全ての課に関係してくるものがございますし、当然それは全ての町民の皆さんに関係することがございますので、やはり連携とかコミュニケーションをさらに深めていく必要があるだろうというふうに思っております。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） その前の答弁で、東員町は町民と役場との距離感があるんじゃないかというご答弁もありました。そして今、若手職員と面談をされて、いろんなところが見えてきたというようなご答弁がございました。小川副町長、着任される前に私、質問をしたことがあるんですけども、役場内での風通しの問題です。以前は非常に風通しが悪いように思っておりました。今、コミュニケーションの話が少し出ましたけども、もっとコミュニケーションをとっていく必要があるというご答弁でしたが、現状ですね、役場内の職員間の風通し、これはどのように肌で感じていらっしゃるのでしょうか。

○議長（山本 陽一郎君） 副町長。

○副町長（小川 裕之君） なかなか微妙なご質問でございまして、基本的には皆さん、仕事に熱心でございまして、そういう意味では仕事に関係して、それぞれ関係する部署と連携をとりながらやっているとは思いますが、ただ先ほど申しましたように、もう少し深くといいますか、連携をとればというふうに思っています。基本的には役場の職員は町民の皆さんのために何とかしたいという思いでやっていますので、そういう意味では一生懸命やっているんだろうというふうに思っております。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 一つ、副町長の役目として、潤滑油みたいな役目もあるのかなと思いますので、どうか風通しをよくするような役割も担っていただければなど、このように思います。

あと、9月議会での私の質問の際の答弁で、副町長の所管する事務の中には入札の事務があるということでありました。当然入札自体は公平公正に執行されているものと思います。

以前、町の斎場の業務を委託していた業者の仕事の質が非常に悪く、利用された方々から多くの苦情が寄せられたという事例がありました。これは余りにも常識からかけ離れた安い価格で落札をしたために、職員にかかる費用が十分に確保できず、正規社員を雇用せずに、アルバイトのような人を雇い入れ、十分なサービスができなかったことが要因と考えられました。

このように入札の執行自体は適正にされていまして、安かろう悪かろうといった、内容に問題のある入札が行われてしまっただけでは、もともとも子もありません。東員町もプロポーザル方式などを採用したりして、それなりの対策はとっていただいております。

副町長は入札の執行についての責任者でありますけれども、入札の内容について、何か副町長なりのお考えがあれば、ひとつお聞きしたいと思うんですけれども。執行としては適正に行われておると思います。ただ内容について、こんなふうには先ほど申し上げたように安かろう悪かろうではだめやということ踏まえて、入札はどのようにあったほうがいいんやないかという何かがあればお願いします。

○議長（山本 陽一郎君） 副町長。

○副町長（小川 裕之君） 先ほどの入札の関係で、特に人件費を削減をして安く入札に参加するという事例が、最近ところどころ聞いているところもありまして、入札参加者の会社の従業員の賃金を安くしないようにという、いわゆる公契約条例というようなものも一方では考えられているようなこともありまして、人件費をダンピングすることによって安くする、それはひいては労働者の生活にも響いてくるわけですから、そこら辺のところ歯止めをどこかでかけなくてはいけないだろうというような話も最近ありまして、全国でも数例そういった入札する会社のほうが雇う方の賃金をある程度水準を保つというんですか、そういうようなこともしているような自治体もあるように聞いてますので、それは今後検討課題であろうというふうに思っております。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤議員。

○2番（近藤 敏彦君） 行政というのは一種の住民サービスでありますので、そういったサービスのできないような業者は入札から外していただくような、そういう方策を考えていただく必要があるかなと思います。

副町長は町長とは違った位置から町内を見たり、役場内を見たりすることで、町長とは違ったよい点や悪い点が見えてくると思います。副町長の確かな目で見たことなどをもとに、町長や執行部に対して提言を行っていただき、ときにはストップ

をかけたリ微調整をしたりなど、副町長としてのかじ取りをしっかりとさせていただけることを願っております。

以上簡単ではありますが、私の質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。